

各位

会社名 PHCホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 宮崎 正次
 (コード: 6523、東証第一部)
 問合せ先 経営管理部長 木村正志
 (TEL. 03-5408-7280 (代表))

通期業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、2022年2月10日に2022年3月期第3四半期決算短信にて公表しました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

1. 2022年3月期の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	調整後 EBITDA* (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (百万円)	基本的1 株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	331,770	27,347	71,994	27,086	20,402	20,250	169.86
今回修正予想 (B)	340,000	8,900	72,300	3,600	△9,800	△10,000	△83.66
増減額(B-A)	8,230	△18,447	306	△23,486	△30,202	△30,250	△253.52
増減率 (%)	2.5%	△67.5%	0.4%	△86.7%	△148.0%	△149.4%	△149.3%
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	306,071	17,599	64,053	22,788	16,829	16,906	149.07

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益} \cdot \text{費用}$$

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失 (有価証券等を除く)}$$

* 調整後EBITDAは、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

2. 修正の主な理由

(1) 病理資金生成単位におけるのれんの減損損失の計上

当社の会計基準である国際会計基準(IFRS)に基づき年次の減損テストを実施した結果、病理資金生成単位において約180億円程度ののれんの減損損失計上を見込んでおります。これは主に、病理事業において原材料費および輸送費などでのコスト増を受けて将来キャッシュフローの見込みが減少し、その現在価値に基づく当該資金生成単位の回収可能価額が帳簿価額を下回ったことによります。

(2) 病理事業における繰延税金資産取り崩し

病理事業の今後の業績見通しを踏まえ、将来の課税所得及び繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、病理事業を構成する子会社にて繰延税金資産の取り崩しを行い、約49億円程度の法人所得税費用

を計上する見込みです。

(3) Senseonics 社への転換権付貸付金に係る公正価値の低下

当社が保有する Senseonics 社への転換権付貸付金の公正価値評価に基づき、約 43 億円程度の評価損を計上する見込みです。

今回の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル=112.34 円、1 ユーロ=130.49 円です。

なお 2022 年 3 月期通期の実績については 5 月 12 日開示予定の決算短信にて開示いたします。

3. 配当予想について

2022 年 3 月期の期末配当については、1 株当たり 38 円の従来予想から変更はありません。

以 上